

臨床研究等の情報公開

研究課題名	下咽頭がん気管切開後の患者の思い ～引き出すことができなかった思いを振り返って～
研究機関	青森市民病院 看護局
研究内容	下咽頭がんは、進行すると気道閉塞をおこし呼吸困難や窒息の危険性がある。今回、入院時告知を受け、気管切開により発声が途絶えた患者を通し、どのような看護が必要であったか、振り返りの中で得た事を報告する。
実施期間	研究倫理委員会承認日～令和8年3月31日
対象者	A氏 70歳代男性、妻と娘の3人暮らしである。X月から喉の引っかかり感があり、食事摂取が困難となる。その後、右頸部の腫脹を自覚、徐々に衰弱し日常生活動作も困難となる。X+2月、受診を拒むA氏を家族が心配し救急要請、搬送され入院となる。
実施方法	電子カルテの看護記録などを参照し、患者や家族への支援のあり方について振り返る。
参加撤回の自由	本人はすでに死亡しているため、妻から同意を得た。事例をまとめるにあたり、個人が特定されるような情報は利用せず公開も行わない。また、一度同意した場合でも、後で取りやめることが出来ることも説明した。
問合せ先	青森市民病院 看護局 三浦 珠美 電話 017-734-2171（代）